

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

Jc879 U.S. PTO
09/996519



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出願年月日
Date of Application:

2000年11月30日

出願番号
Application Number:

特願2000-365606

出願人
Applicant(s):

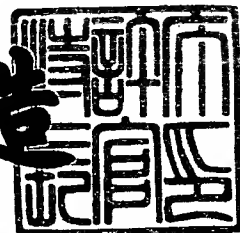
ソニー株式会社
株式会社ジャストシステム

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年10月19日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3091928

【書類名】 特許願

【整理番号】 0001007903

【提出日】 平成12年11月30日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/30

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 四元 夏子

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 浅井 正弘

【発明者】

【住所又は居所】 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社
内

【氏名】 内田 真美

【発明者】

【住所又は居所】 徳島県徳島市川内町平石若松108-4 株式会社ジャ
ストシステム内

【氏名】 三浦 孝昭

【発明者】

【住所又は居所】 徳島県徳島市川内町平石若松108-4 株式会社ジャ
ストシステム内

【氏名】 高田 克久

【特許出願人】

【識別番号】 000002185

【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代表者】 出井 伸之

【特許出願人】

【識別番号】 390024350
【氏名又は名称】 株式会社ジャストシステム
【代表者】 浮川 和宣

【代理人】

【識別番号】 100082131
【弁理士】
【氏名又は名称】 稲本 義雄
【電話番号】 03-3369-6479

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 032089
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【包括委任状番号】 9708842

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報処理装置および方法、並びに記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 の情報を取得する第 1 の取得手段と、

前記第 1 の情報を取得するために必要な第 1 の付属情報を登録する第 1 の登録手段と、

第 2 の情報を取得する第 2 の取得手段と、

前記第 2 の情報を取得するために必要な第 2 の付属情報を登録する第 2 の登録手段と、

前記第 1 の付属情報または前記第 2 の付属情報が既に登録されているか否かを判定する判定手段と

を備え、

前記第 1 の登録手段または前記第 2 の登録手段は、前記第 1 の付属情報または前記第 2 の付属情報の一方が既に登録されている場合、既に登録されている前記一方の付属情報を、他方の付属情報の登録に利用することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】 前記第 1 の取得手段は、前記第 1 の情報として、テレビジョン放送のコンテンツを取得し、

前記第 2 の取得手段は、前記第 2 の情報として、インターネットを介してサーバからウェブコンテンツを取得することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】 前記第 1 の付属情報は、前記テレビジョン放送において受信するチャンネルを設定するための放送地域に関する情報であり、

前記第 2 の付属情報は、前記インターネットに接続するプロバイダに関する情報である

ことを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】 第 1 の情報を取得する第 1 の取得ステップと、

前記第 1 の情報を取得するために必要な第 1 の付属情報を登録する第 1 の登録ステップと、

第 2 の情報を取得する第 2 の取得ステップと、

前記第 2 の情報を取得するために必要な第 2 の付属情報を登録する第 2 の登録ステップと、

前記第 1 の付属情報または前記第 2 の付属情報が既に登録されているか否かを判定する判定ステップと

を含み、

前記第 1 の登録ステップまたは前記第 2 の登録ステップの処理では、前記第 1 の付属情報または前記第 2 の付属情報の一方が既に登録されている場合、既に登録されている前記一方の付属情報を、他方の付属情報の登録に利用することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 5】 第 1 の情報を取得する第 1 の取得ステップと、

前記第 1 の情報を取得するために必要な第 1 の付属情報を登録する第 1 の登録ステップと、

第 2 の情報を取得する第 2 の取得ステップと、

前記第 2 の情報を取得するために必要な第 2 の付属情報を登録する第 2 の登録ステップと、

前記第 1 の付属情報または前記第 2 の付属情報が既に登録されているか否かを判定する判定ステップと

を含み、

前記第 1 の登録ステップまたは前記第 2 の登録ステップの処理では、前記第 1 の付属情報または前記第 2 の付属情報の一方が既に登録されている場合、既に登録されている前記一方の付属情報を、他方の付属情報の登録に利用する

ことを特徴とするコンピュータが読み取り可能なプログラムが記録されている記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、情報処理装置および方法、並びに記録媒体に関し、特に、情報処理装置を利用する前に、所定の情報を登録する必要がある場合に、その登録のため

の操作を簡単にするようにした情報処理装置および方法、並びに記録媒体に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

テレビジョン受像機を購入したユーザは、テレビジョン受像機の利用を開始するにあたって、そのテレビジョン受像機を利用する放送地域（自分自身が居住している放送地域）を予め登録する必要がある。テレビジョン受像機は、この登録に基づき、受信チャンネルの設定処理を行う。

【 0 0 0 3 】

また、パーソナルコンピュータを購入したユーザが、インターネットを利用して所定のサーバにアクセスしようとする場合には、ユーザは、インターネットプロバイダを予めパーソナルコンピュータに設定する必要がある。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

従って、例えば、テレビジョン放送を受信する機能と、インターネットを介して各種のサーバにアクセスする機能を有する情報処理装置を購入した場合、そのユーザは、受信チャンネルを設定するための放送地域の登録処理と、インターネットプロバイダを登録するための処理を行う必要があるが、その操作に時間が掛かる課題があった。

【 0 0 0 5 】

本発明は、このような状況に鑑みてなされたものであり、より迅速に登録処理を完了することができるようにするものである。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

本発明の情報処理装置は、第 1 の情報を取得する第 1 の取得手段と、第 1 の情報を取得するために必要な第 1 の付属情報を登録する第 1 の登録手段と、第 2 の情報を取得する第 2 の取得手段と、第 2 の情報を取得するために必要な第 2 の付属情報を登録する第 2 の登録手段と、第 1 の付属情報または第 2 の付属情報が既に登録されているか否かを判定する判定手段とを備え、第 1 の登録手段または第

2の登録手段は、第1の付属情報または第2の付属情報の一方が既に登録されている場合、既に登録されている一方の付属情報を、他方の付属情報の登録に利用することを特徴とする。

【0007】

前記第1の取得手段は、第1の情報として、テレビジョン放送のコンテンツを取得し、第2の取得手段は、第2の情報として、インターネットを介してサーバからウェブコンテンツを取得することができる。

【0008】

前記第1の付属情報は、テレビジョン放送において受信するチャンネルを設定するための放送地域に関する情報であり、第2の付属情報は、インターネットに接続するプロバイダに関する情報であるようにすることができる。

【0009】

本発明の情報処理方法は、第1の情報を取得する第1の取得ステップと、第1の情報を取得するために必要な第1の付属情報を登録する第1の登録ステップと、第2の情報を取得する第2の取得ステップと、第2の情報を取得するために必要な第2の付属情報を登録する第2の登録ステップと、第1の付属情報または第2の付属情報が既に登録されているか否かを判定する判定ステップとを含み、第1の登録ステップまたは第2の登録ステップの処理では、第1の付属情報または第2の付属情報の一方が既に登録されている場合、既に登録されている一方の付属情報を、他方の付属情報の登録に利用することを特徴とする。

【0010】

本発明の記録媒体は、第1の情報を取得する第1の取得ステップと、第1の情報を取得するために必要な第1の付属情報を登録する第1の登録ステップと、第2の情報を取得する第2の取得ステップと、第2の情報を取得するために必要な第2の付属情報を登録する第2の登録ステップと、第1の付属情報または第2の付属情報が既に登録されているか否かを判定する判定ステップとを含み、第1の登録ステップまたは第2の登録ステップの処理では、第1の付属情報または第2の付属情報の一方が既に登録されている場合、既に登録されている一方の付属情報を、他方の付属情報の登録に利用することを特徴とするコンピュータが読み取

り可能なプログラムが記録されている。

【 0 0 1 1 】

本発明の情報処理装置および方法、並びに記録媒体のプログラムにおいては、第 1 の付属情報または第 2 の付属情報の一方が、すでに登録されている場合、すでに登録されている一方の付属情報が、他方の付属情報の登録に利用される。

【 0 0 1 2 】

【発明の実施の形態】

図 1 は、本発明が適用される情報処理装置が利用されるネットワークシステムの構成を表している。

【 0 0 1 3 】

すなわち、本発明が適用される情報処理装置 4 は、放送局 5 - 1 乃至 5 - 3 が放送するテレビジョン放送を受信する機能を有するとともに、インターネットサービスプロバイダ（以下、単に、プロバイダと称する）3 - 1 乃至 3 - 3 のうち、予め設定登録した所定のプロバイダを介してインターネット 2 に接続する機能を有している。従って、情報処理装置 4 のユーザは、放送局 5 - 1 乃至 5 - 3 が放送するテレビジョン番組を視聴することができるだけでなく、インターネット 2 に接続されているサーバ 1 - 1 乃至 1 - 3 に適宜アクセスし、所定のウェブコンテンツを受信することができる。

【 0 0 1 4 】

図 2 は情報処理端末 4 の構成例を表している。CPU (Central Processing Unit) 2 1 は、ROM (Read Only Memory) 2 2 に記憶されているプログラム、または記憶部 2 8 から RAM (Random Access Memory) 2 3 にロードされたプログラムに従って各種の処理を実行する。RAM 2 3 にはまた、CPU 2 1 が各種の処理を実行する上において必要なデータなども適宜記憶される。EEPROM 2 4 には、電源のオフ後も保持しておく必要がある情報が記憶される。

【 0 0 1 5 】

図 3 は、EEPROM 2 4 に記憶されている情報の例を示している。この例においては、都道府県リスト 5 1、都市リスト 5 2、放送地域リスト 5 3、チャンネルリスト 5 4、アクセスポイントリスト 5 5、およびリンクテーブル 5 6 が記憶され

ている。都道府県リスト51には、情報処理装置4を使用するユーザが、居住する都道府県のリストが登録されている。都市リスト52には、ユーザが居住する都市が記憶されている。放送地域リスト53には、テレビジョン放送の受信チャンネルを設定するのに必要な放送地域が記憶されている。チャンネルリスト54には、各放送地域において、視聴者が受信可能な放送チャンネルのリストが登録されている。アクセスポイントリスト55には、プロバイダのリストが登録されている。リンクテーブル56は、都市リスト52に記憶されている都市と、放送地域リスト53に記憶されている放送地域との対応関係が記憶されている。

【0016】

CPU21、ROM22、およびRAM23は、バス20を介して相互に接続されている。このバス20にはまた、入出力インタフェース25も接続されている。

【0017】

入出力インタフェース25には、キーボード、マウス、スイッチ、ボタン、リモートコマンドなどよりなる入力部26、CRT、LCDなどよりなるディスプレイ、並びにスピーカなどよりなる出力部27、ハードディスクなどより構成される記憶部28、放送局5-1乃至5-3からの電波を受信、復調する受信部29、モデム、ターミナルアダプタなどより構成される通信部30が接続されている。通信部30は、インターネット2を介しての通信処理を行う。

【0018】

入出力インタフェース25にはまた、必要に応じてドライブ31が接続され、磁気ディスク41、光ディスク42、光磁気ディスク43、或いは半導体メモリ44などが適宜装着され、それらから読み出されたコンピュータプログラムが、必要に応じて記憶部28にインストールされる。

【0019】

情報処理装置4を購入したユーザは、情報処理装置4を利用して、テレビジョン放送を視聴するとき、受信すべきテレビジョンチャンネル設定処理を事前に実行する必要がある。そこで、図4のフローチャートを参照して、テレビジョンチャンネル設定処理について説明する。この処理は、ユーザが入力部26を操作して、テレビジョン放送の受信チャンネルの設定処理を指令したとき、CPU21に

より実行される。

【0020】

最初に、ステップS1において、CPU21は、EEPROM24に、すでに都市が登録されているか否かを判定する。すなわち、ユーザが、図7を参照して後述するアクセスポイント設定処理をすでに完了しているとき、ステップS30の処理で、ユーザが居住している都市（情報処理装置4が使用される都市）が、EEPROM24にすでに登録されている。CPU21は、ステップS1において、都市がまだ登録されていないと判定した場合、ステップS2に進み、EEPROM24に登録されている都道府県リスト51を読み出し、出力部27に供給し、表示させる。

【0021】

図5は、このようにして、出力部27の表示部に表示された表示例を示している。この例においては、北海道、青森県、秋田県、岩手県といった都道府県の名称が、北から南の順番に（あるいは、アイウエオ順でもよい）順次表示されている。

【0022】

ユーザは、入力部26を操作して、このように表示された都道府県の中から、自分自身が居住している（情報処理装置4を使用する）都道府県を選択する。ユーザにより、この選択が行われると、CPU21は、ステップS3において、選択された都道府県のデータを取得する。

【0023】

次に、ステップS4において、CPU21は、EEPROM24に記憶されている放送地域リスト53を読み出し、出力部27に出力し、表示させる。

【0024】

図6は、この場合の表示例を表している。この例においては、いま、ユーザが図5に示されている都道府県の中から「東京都」を選択した場合の放送地域の表示例を示している。この例においては、「東京」、「八王子」、「多摩」の3つの放送地域が表示されている。これは、「東京」においては、テレビジョン放送の受信チャンネルが、この3つの放送地域によって異なるからである。ユーザは、入力部26を操作して、自分自身が居住している地域が、この3つの放送地域

の中のどれに属するかを判断し、1つを選択する。放送地域が選択されると、ステップS5において、CPU21は、選択された放送地域のデータを取得する。

【0025】

次に、ステップS7に進み、CPU21は、ステップS5で取得された放送地域に対応するテレビジョン放送の受信チャンネルを、EEPROM24に記憶されているチャンネルリスト54の中から選択し、その受信チャンネルを受信部29で受信できるように設定する。

【0026】

次に、ステップS8において、CPU21は、ステップS5において、取得された放送地域をEEPROM24に、この情報処理装置4が利用される放送地域として登録する。

【0027】

このように放送地域が登録されると、図7のフローチャートを参照して後述するアクセスポイント設定処理において、これが利用される（ステップS26）。

【0028】

一方、ステップS1において、EEPROM24に都市がすでに登録されてると判定された場合、ステップS6に進み、CPU21は、その登録されている都市に対応する放送地域をEEPROM24から読み出す。すなわち、図3に示されるように、EEPROM24のリンクテーブル56には、放送地域リスト53に登録されている放送地域と、都市リスト52に登録されている都市の対応関係が登録されている。そこで、CPU21は、すでに登録されている都市に対応する放送地域を、リンクテーブル56を参照することで読み出す。例えば、都市として、新宿区が登録されている場合、新宿区は「東京都」に属する。また、上述したように、「東京都」には、放送地域として、「東京」、「八王子」、「多摩」の3つの放送地域が存在し、新宿区は、そのうちの「東京」に属するので、CPU21は、放送地域リスト53から、この「東京」の放送地域を読み出す。

【0029】

そして、ステップS7に進み、CPU21は、ステップS6で読み出された地域で放送されているテレビジョン番組が、受信部29で受信できるように、受信チ

チャンネルの設定処理を行う。そして、ステップ S 8 において、その放送地域（いまの場合、「東京」）がEEPROM 2 4 に登録される。

【 0 0 3 0 】

このように、図 4 の処理においては、後述する図 7 のフローチャートに示すアクセスポイント設定処理により、都市が既に登録されている場合には、ユーザは、テレビチャンネル設定処理のために、都道府県と放送地域を選択、指定する必要がなくなる。従って、操作性が改善される。

【 0 0 3 1 】

なお、放送地域と都市とが必ずしも 1 対 1 に対応していない場合には、ステップ S 6 において、放送地域が読み出されたとき、ステップ S 4 に進み、その放送地域を表示させ、ユーザにその放送地域の中から所定のものを選択させるようにしても良い。

【 0 0 3 2 】

次に、図 7 のフローチャートを参照して、インターネット 2 に接続するためのプロバイダの登録処理、すなわち、アクセスポイント設定処理について説明する。この処理は、ユーザが、入力部 2 6 を操作して、アクセスポイントの設定を指示したとき、CPU 2 1 により実行される。

【 0 0 3 3 】

最初に、ステップ S 2 1 において、CPU 2 1 は、放送地域がEEPROM 2 4 に既に登録されているか否かを判定する。放送地域が登録されていない場合には、ステップ S 2 2 に進み、CPU 2 1 は、EEPROM 2 4 の都道府県リスト 5 1 を読み出し、出力部 2 7 に出力し、都道府県を表示させる。これにより、上述した場合と同様に、図 5 に示すような都道府県が出力部 2 7 に表示される。

【 0 0 3 4 】

ユーザは、自分自身が居住する地域（情報処理装置 4 を使用する地域）を、入力部 2 6 を操作して、表示された都道府県の中から所定のものを選択することで指定する。そこで、ステップ S 2 3 において、CPU 2 1 は、ユーザが都道府県を指定したとき、その指定された都道府県のデータを取得する。ステップ S 2 4 において、CPU 2 1 は、その都道府県が属する都市を都市リスト 5 2 から読み出し

、出力部 2 7 に出力し、表示させる。例えば、都道府県として「東京都」が指定された場合、図 8 に示すような都市が出力部 2 7 に表示される。図 8 の例においては、「2 3 区」、「武蔵野市」、「三鷹市」、「小平市」、「田無市」等が表示されている。

【 0 0 3 5 】

このように、都市が表示されたとき、ユーザは、自分自身が居住する都市（情報処理装置 4 を使用する都市）を、入力部 2 6 を操作することで選択する。CPU 2 1 は、ステップ S 2 5 において、この操作に対応する都市のデータを取得する。そして、ステップ S 2 7 において、CPU 2 1 は、EEPROM 2 4 のアクセスポイントリスト 5 5 を読み出し、ステップ S 2 5 において取得した都市に最も近いアクセスポイント（プロバイダ）を筆頭にして、出力部 2 7 に出力し、表示させる。

【 0 0 3 6 】

図 9 は、この場合における表示例を表している。この例においては、ユーザが、図 8 に示される都市の中から「2 3 区」を選択した場合のアクセスポイントの例を表している。この例では、ユーザが、「2 3 区」に居住しているため、「2 3 区」に所属するプロバイダの電話番号が、アクセスポイントリストの筆頭に表示されている（「0 3」の市外局番を有するプロバイダが筆頭に表示されている）。

【 0 0 3 7 】

ユーザは、必要に応じてスクロールボタン 7 1, 7 2 を操作することで、出力部 2 7 に表示されているアクセスポイントをスクロールし、所望のアクセスポイントを探ることができる。

【 0 0 3 8 】

このように、アクセスポイントを表示するとき、通常、例えば、電話番号の市外局番が若い番号順に表示されるのであるが、通常、ユーザは、自分自身が居住している地域と同一の市内局番のプロバイダを、自分自身が使用するプロバイダとして選択することが多い。何故ならば、その分、電話代を安くすることができるからである。そこで、このように、ユーザが居住する地域のプロバイダを筆頭に表示しておくことで、ユーザは、より迅速に、最寄りのプロバイダを検索する

ことができる。

【0039】

ユーザは、所望のプロバイダが見つかったとき、入力部26を操作して、カーソル73で、その所望のプロバイダのチェックボックスをチェックすることで、プロバイダを指定する。

【0040】

CPU21は、ステップS28において、アクセスポイント（プロバイダ）が指定されるまで待機し、指定されたとき、ステップS29に進み、指定されたアクセスポイントを、以後、情報処理装置4が通信部30からインターネット2に接続する場合のプロバイダとして設定する処理を実行する。

【0041】

次に、ステップS30に進み、CPU21は、ステップS25で取得した都市を、情報処理装置4が使用される都市として、EEPROM24に登録する。

【0042】

このように、アクセスポイント設定処理が行われると、都市が登録されるので、このアクセスポイント設定処理を行った後、図4のフローチャートに示すテレビチャンネル設定処理を行うと、ステップS2乃至ステップS5の処理が上述したようにスキップされ、より簡単に、テレビチャンネル設定処理を完了することが可能となる。

【0043】

これに対して、ステップS21において、放送地域がEEPROM24に既に登録されていると判定された場合、ステップS26に進み、CPU21は、その登録されている放送地域に対応する都市を、リンクテーブル56を参照して読み出す。上述したように、ユーザが、図4のフローチャートに示すテレビチャンネル設定処理を既に完了しているとき、ステップS8の処理で、放送地域が既に登録されていることになる。そこで、この場合には、ステップS26において、その放送地域に対応する都市が読み出される。例えば、放送地域として「東京」が登録されている場合、リンクテーブル56に基づいて、「23区」の都市が読み出される。

【0044】

その後、ステップS27に進み、ステップS26で読み出された都市に最も近いアクセスポイントを筆頭にしたアクセスポイントリストが表示される。そして、上述した場合と同様の処理により、アクセスポイントが設定され、登録される。

【0045】

このように、テレビチャンネル設定処理が既に完了している場合には、図7のステップS22乃至ステップS25の処理がスキップされる。従って、ユーザは、より迅速にアクセスポイント設定処理を完了することが可能となる。

【0046】

以上のようにして、テレビチャンネル設定処理と、アクセスポイント設定処理が完了した後、ユーザが、入力部27を操作して、テレビジョン放送の受信を指令すると、CPU21は、受信部29を制御し、ユーザにより指定された放送局の電波を受信させ、その放送コンテンツを出力部27から出力させる。このとき、正しい放送地域の設定処理が行われているため、放送チャンネルを確実に受信することが可能となる。

【0047】

また、ユーザが、入力部26を操作して、例えば、サーバ1-1に対するアクセスを指令すると、CPU21は、通信部30を制御し、登録されている、例えば、プロバイダ3-1からインターネット2を介してサーバ3-1にアクセスさせる。そして、サーバ1-1からウェブコンテンツを受信させ、出力部27に出力させる。

【0048】

以上においては、放送コンテンツとウェブコンテンツを取得する場合を例として本発明を説明したが、本発明は、その他の情報を取得する場合にも適用することが可能である。

【0049】

上述した一連の処理は、ハードウェアにより実行させることもできるが、ソフトウェアにより実行させることもできる。一連の処理をソフトウェアにより実行

させる場合には、そのソフトウェアを構成するプログラムが、専用のハードウェアに組み込まれているコンピュータ、または、各種のプログラムをインストールすることで、各種の機能を実行することが可能な、例えば汎用のパーソナルコンピュータなどに、ネットワークや記録媒体からインストールされる。

【0050】

この記録媒体は、図2に示すように、装置本体とは別に、ユーザにプログラムを提供するために配布される、プログラムが記録されている磁気ディスク41（フロッピディスクを含む）、光ディスク42（CD-ROM(Compact Disk-Read Only Memory)、DVD(Digital Versatile Disk)を含む）、光磁気ディスク43（MD(Mini-Disk)を含む）、もしくは半導体メモリ44などよりなるパッケージメディアにより構成されるだけでなく、装置本体に予め組み込まれた状態でユーザに提供される、プログラムが記録されているROM22や、記憶部28に含まれるハードディスクなどで構成される。

【0051】

なお、本明細書において、記録媒体に記録されるプログラムを記述するステップは、記載された順序に沿って時系列的に行われる処理はもちろん、必ずしも時系列的に処理されなくとも、並列的あるいは個別に実行される処理をも含むものである。

【0052】

また、本明細書において、システムとは、複数の装置により構成される装置全体を表すものである。

【0053】

【発明の効果】

以上の如く、本発明の情報処理装置および方法、並びに記録媒体のプログラムによれば、第1の付属情報または第2の付属情報の一方が既に登録されている場合、既に登録されている一方の付属情報を、他方の付属情報の登録に利用するようにしたので、迅速かつ簡単に、登録処理を完了することが可能となる。その結果、ユーザインタフェースが向上する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の情報処理装置が適用されるシステムの構成を示す図である。

【図 2】

図 1 の情報処理装置の構成例を示すブロック図である。

【図 3】

図 2 のEEPROMに記憶されている情報を説明する図である。

【図 4】

図 2 の情報処理装置のテレビチャンネル設定処理を説明するフローチャートである。

【図 5】

都道府県リストの表示例を示す図である。

【図 6】

放送地域の表示例を示す図である。

【図 7】

図 2 の情報処理装置のアクセスポイント設定処理を説明するフローチャートである。

【図 8】

都市リストの表示例を示す図である。

【図 9】

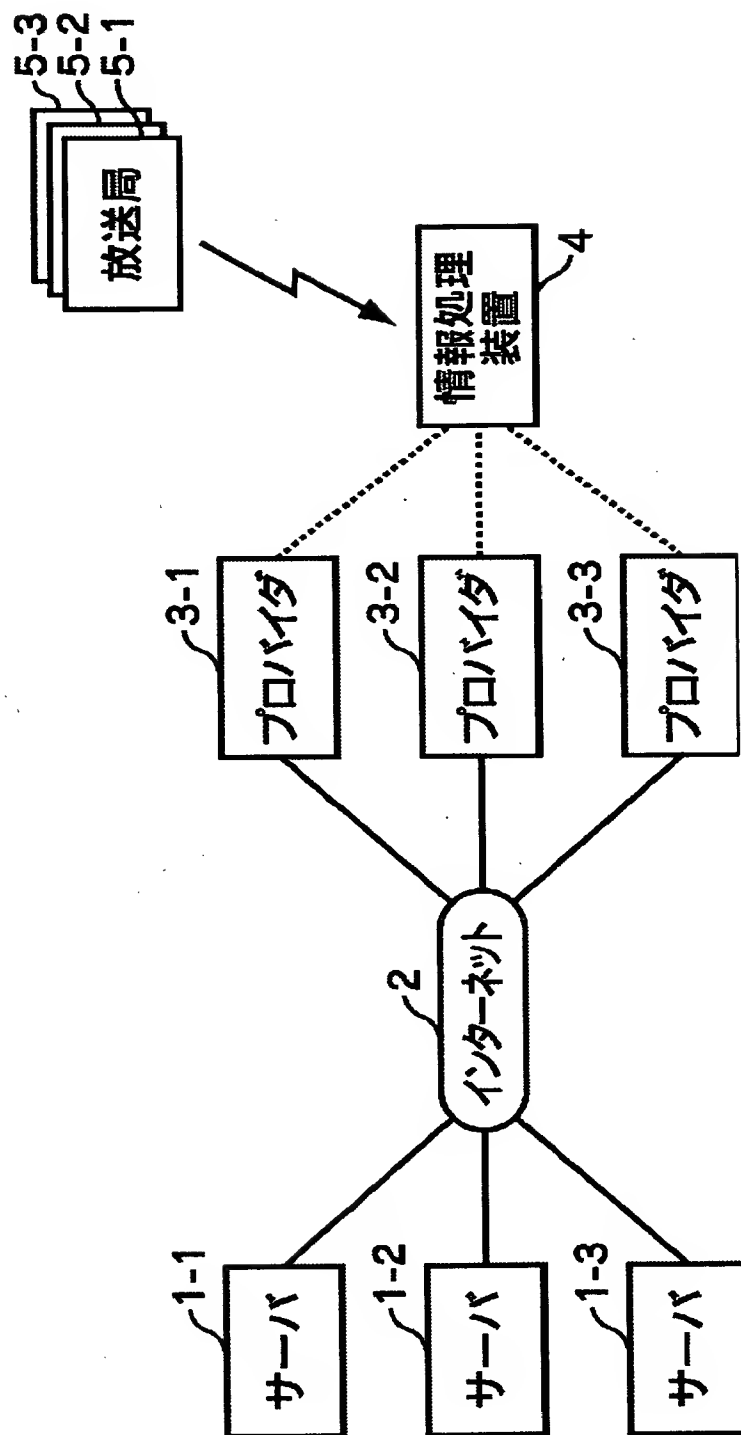
アクセスポイントリストの表示例を示す図である。

【符号の説明】

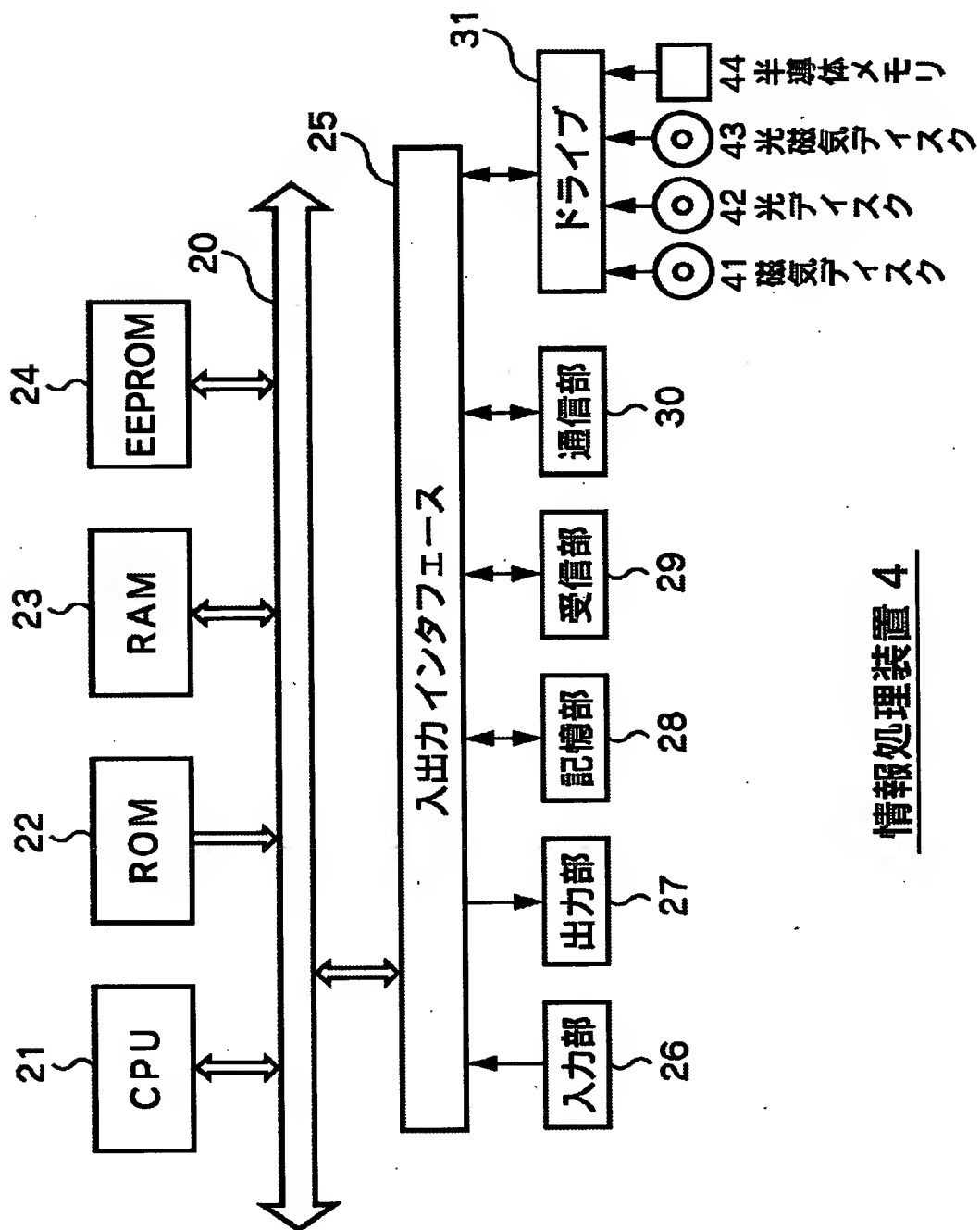
1-1 乃至 1-3 サーバ, 2 インターネット, 3-1 乃至 3-3 インターネットサービスプロバイダ, 4 情報処理装置, 5-1 乃至 5-3 放送局, 21 CPU, 24 EEPROM, 29 受信部, 30 通信部

【書類名】図面

【図1】

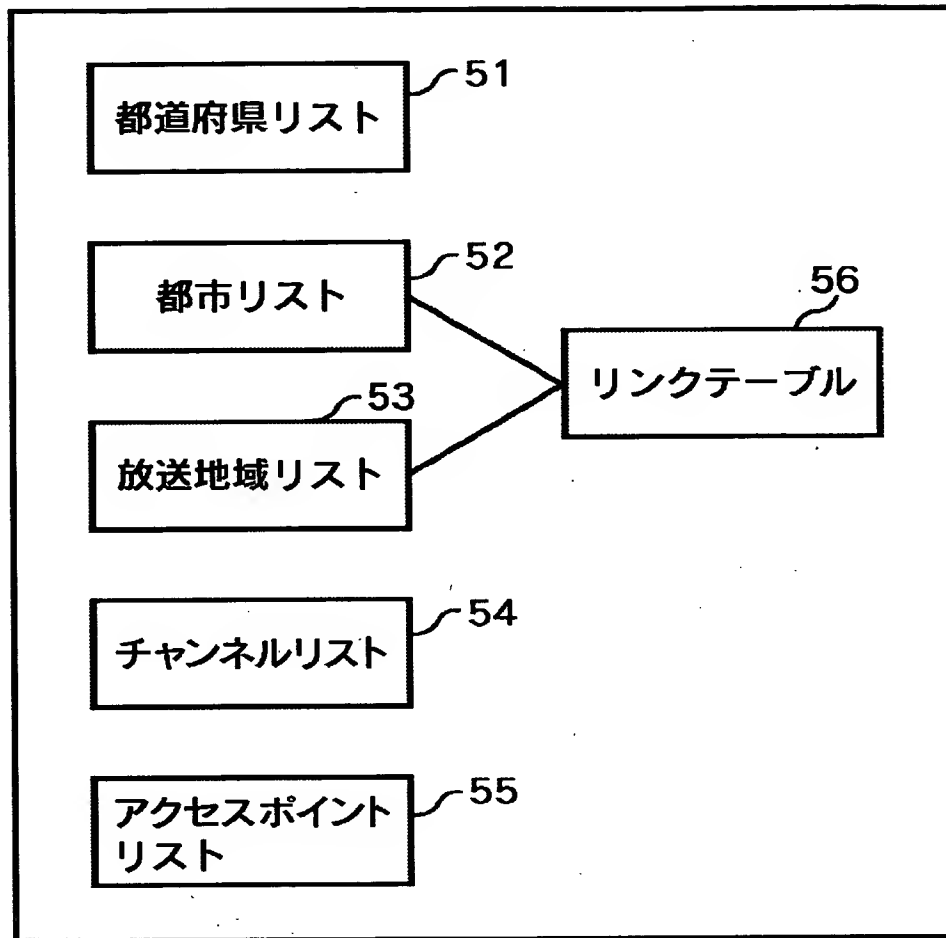


【図2】

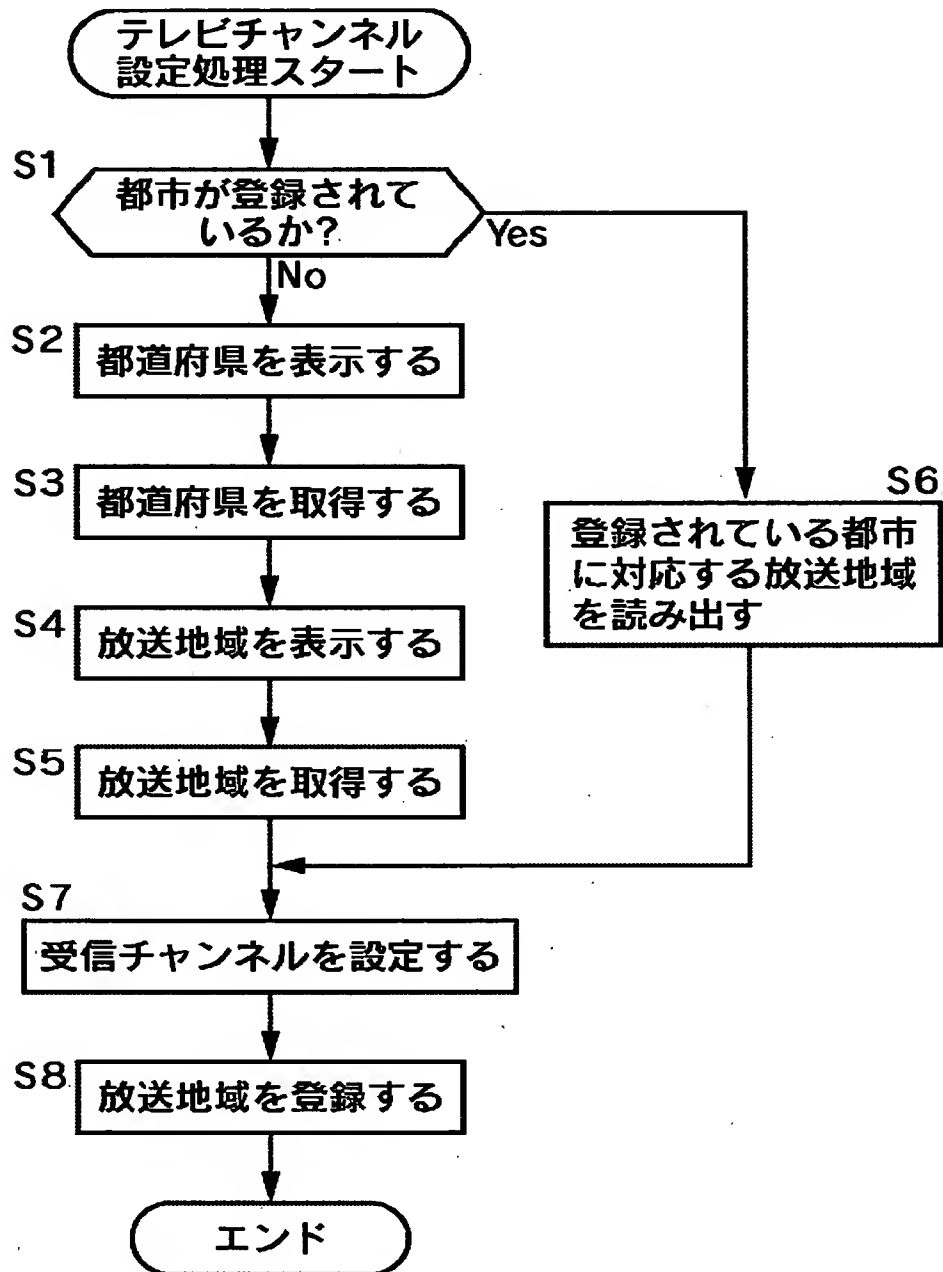


情報処理装置 4

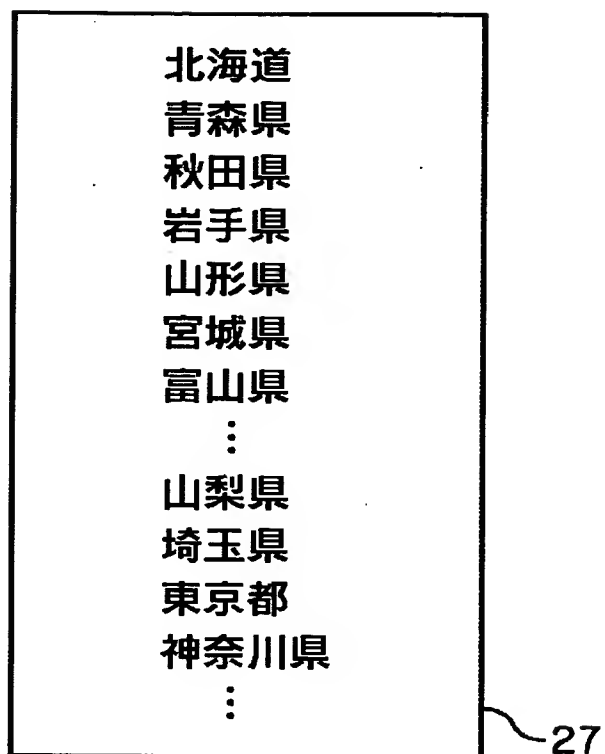
【図3】



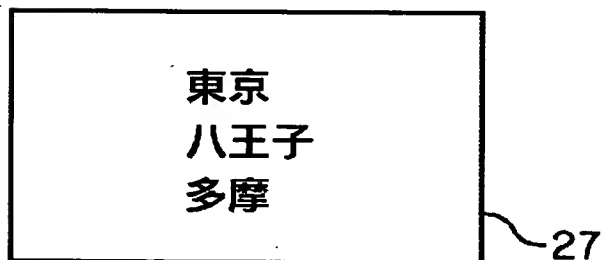
【図 4】



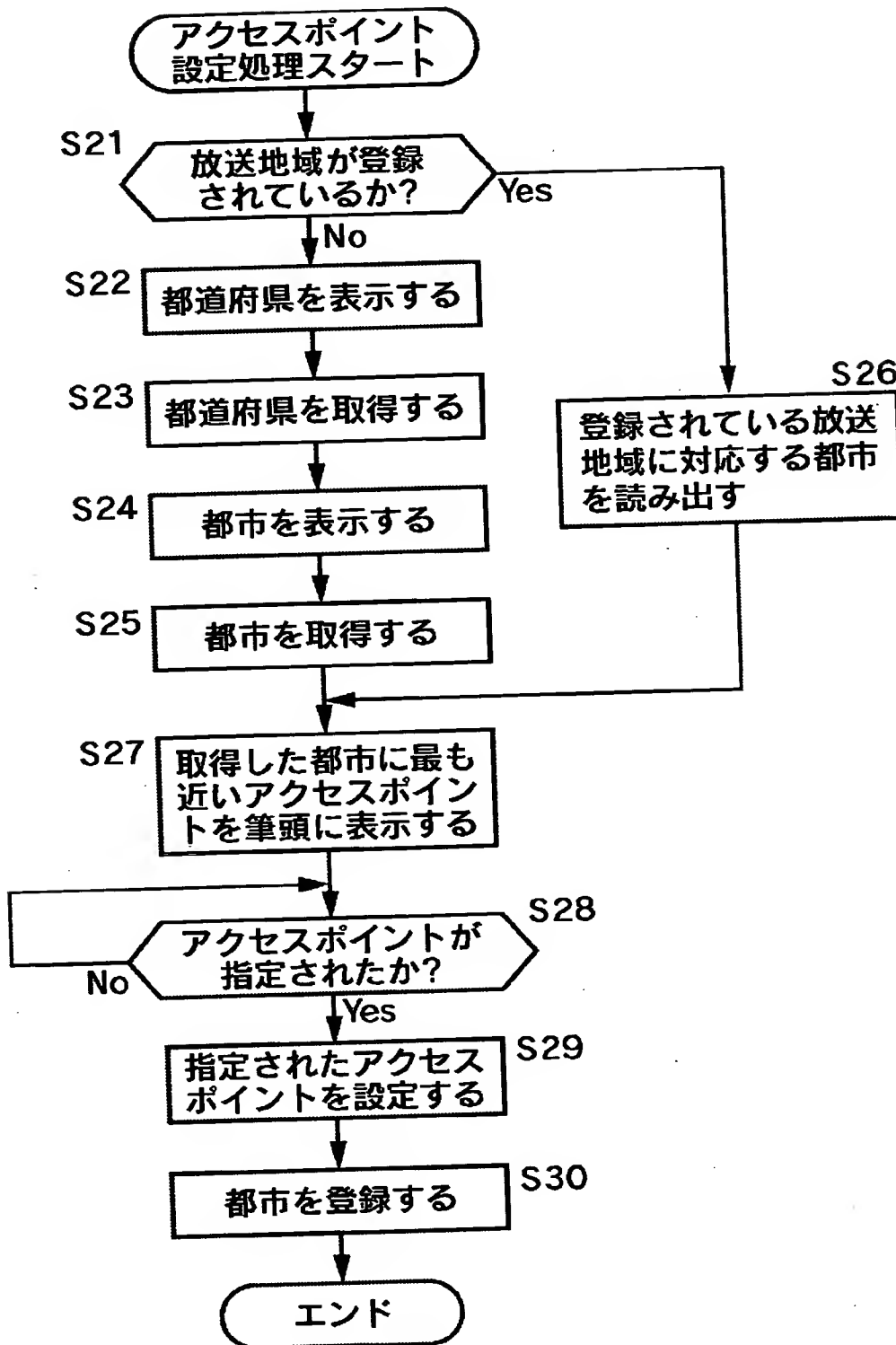
【図5】



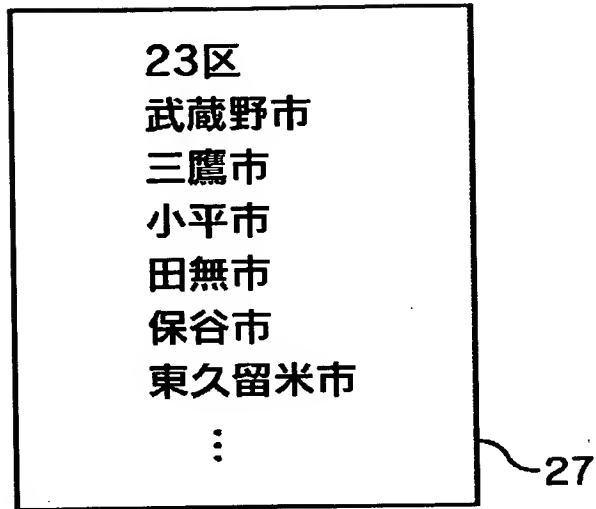
【図6】



【図7】

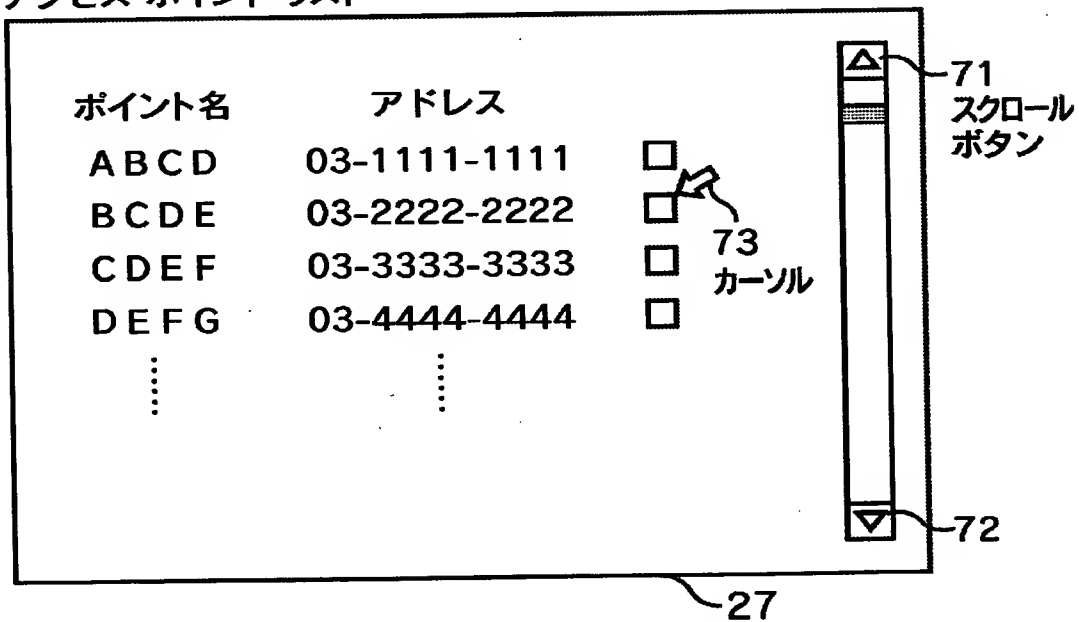


【図 8】



【図 9】

アクセス ポイント リスト



【書類名】 要約書

【課題】 テレビチャンネル設定処理とプロバイダの設定処理を、迅速に完了することができるようにする。

【解決手段】 情報処理装置4は、インターネット2に接続する機能と、放送局5-1乃至5-3からのテレビジョン放送を受信する機能を有している。情報処理装置4が利用される放送地域が設定登録されると、インターネットサービスプロバイダを設定するとき、居住地域に最も近いインターネットサービスプロバイダを筆頭として、情報処理装置4の表示部に表示される。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日	1990年 8月30日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都品川区北品川6丁目7番35号
氏 名	ソニー株式会社

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [390024350]

1. 変更年月日 1990年11月20日
[変更理由] 新規登録
住 所 徳島県徳島市沖浜東3-46
氏 名 株式会社ジャストシステム